

コスタリカ内政・外交定期報告(2025年9月)

【ポイント】

内政

- チャベス大統領免責特権維持

外交

- 次期米国大使、当国5Gネットワークへの中国関与を脅威と批判
- 米国、中国と関与の疑いのある中米諸国民の査証発給制限を発表
- アンドレ外相、北欧外遊
- アンドレ外相、国連総会出席

【本文】

内政

- チャベス大統領免責特権維持

9月22日、ロドリゴ・チャベス大統領の免責特権を剥奪し、中央経済統合銀行(BCIE)との契約に関する収賄容疑による刑事訴追に直面させるか否かに関する国会審議が行われ、否決された。

外交

- 次期米国大使、当国5Gネットワークへの中国関与を脅威と批判

9月3日、次期当国米国大使ヒルデブランド氏は、当国5Gネットワークへの中国関与の可能性を米国の国家安全保障・経済双方に対する脅威と批判した。また、大使として就任後、在外自国民保護を優先に尽力する旨言及している。

- 米国、中国と関与の疑いのある中米諸国民の査証発給制限を発表

9月4日、米国国務省は中国共産党と協力している中米諸国(コスタリカ含)国民に対し、査証の発給を制限する旨発表した。過去には、ヨハナ・オバンド議員やシンシア・コルドバ議員など、米国が中国と協力しているとみなす4人のコスタリカの高官が査証をはく奪されている。

- アンドレ外相、北欧外遊

9月7日～17日、アンドレ外相は欧州4か国(アイルランド、英国、ノルウェー、スウェーデン)を訪問した。

- アンドレ外相、国連総会出席

9月24日、アンドレ外相は国連総会に出席し、3つの挑戦：核兵器、気候変動、AIガバナンスについて一般討論演説を行った。